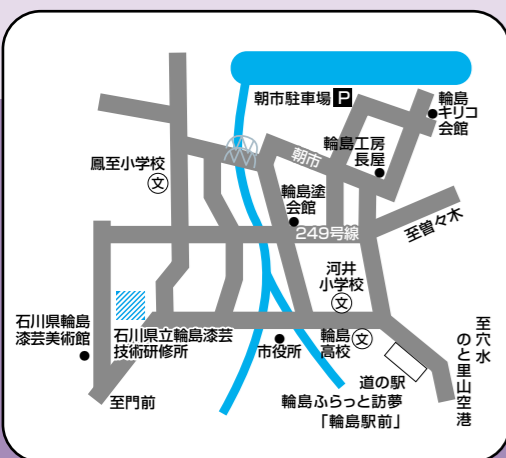




表紙作品

蒔絵箱「朝涼」  
 普通研修課程 蒔絵科講師  
 浦出 勝彦 作 奥行11.0 幅25.0 高14.0(cm)



アクセス (令和6年6月現在)

- ：特急バス  
金沢駅－〔臨時〕北鉄奥能登バス「輪島駅前」(約3時間)
- ：飛行機  
羽田空港－のと里山空港(約1時間)－(空港から車で約30分)
- ：徒歩  
道の駅輪島ふらっと訪夢「輪島駅前」(約25分)

重要無形文化財(人間国宝)技術伝承者養成  
**石川県立輪島漆芸技術研修所**

ISHIKAWA PREFECTURAL WAJIMA INSTITUTE OF URUSHI ARTS

〒928-0064 石川県輪島市釜屋谷町1字30番地 TEL0768-22-7000(代表) FAX0768-22-7003  
<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/bunkazai/shikken/>



## ● 沿革

- 1967(昭和42年)10月 重要無形文化財技術伝承者養成施設として輪島市立漆芸技術研修所開設(市役所内) 蒔絵科、沈金科設置。輪島市教育長 小式海清一 所長兼任  
重要無形文化財「蒔絵」保持者 松田権六、「沈金」保持者 前 得二(大峰)  
「友禅」保持者 木村文二(雨山)、「彫漆」保持者 音丸芳雄(耕堂) 講師に就任
- 1970(昭和45年)4月 重要無形文化財「木工芸」保持者 氷見與三治(晃堂) 講師に就任
- 1972(昭和47年)4月 石川県に移管。石川県立輪島漆芸技術研修所として発足  
石川県立工業高校教頭 寺井直次 所長に就任
- 1974(昭和49年)4月 石川県立輪島実業高校教頭 日吉修蔵 所長に就任
- 1975(昭和50年)4月 髹漆科増設。重要無形文化財「髹漆」保持者 赤地外次(友哉) 講師に就任
- 1977(昭和52年)4月 石川県立中島高校教頭 松原政義 所長に就任
- 1978(昭和53年)10月 10年のあゆみ東京展 西武百貨店池袋店にて開催(10月27日～11月1日)  
11月 創立10周年記念式典及び10年のあゆみ金沢展 石川県立美術館にて開催(11月18日～12月3日)
- 1979(昭和54年)4月 重要無形文化財「髹漆」保持者 増村成雄(益城) 講師に就任
- 1980(昭和55年)12月 1期新築工事、鉄筋コンクリート造瓦葺2階建管理教室棟落成
- 1981(昭和56年)12月 2期新築工事、鉄筋コンクリート造瓦葺平屋建 棧地教室棟、実習棟落成
- 1982(昭和57年)4月 棧地科設置  
4月 髹漆科助講師 大場勝雄(松魚) 重要無形文化財「蒔絵」保持者に認定され講師に就任
- 1985(昭和60年)3月 蒔絵科助講師 寺井直次 重要無形文化財「蒔絵」保持者に認定され、講師に就任  
4月 特別研修課程専修科設置
- 1986(昭和61年)5月 浩宮徳仁親王殿下(現天皇陛下)お成り(所内御見学)
- 1987(昭和62年)4月 指導陣の名称改正(講師→主任講師、助講師→講師、指導員→助講師)  
重要無形文化財「竹工」保持者 飯塚成年(小玗齋) 主任講師に就任  
重要無形文化財「蒟醬」保持者 磯井正美 主任講師に就任
- 1988(昭和63年)2月 20年のあゆみ東京展 西武百貨店池袋店にて開催(2月26日～3月2日)  
3月 創立20周年記念式典及び20年のあゆみ石川展 本研修所にて開催(3月11日～3月19日)  
3期新築工事、鉄筋コンクリート造瓦葺平屋建 講堂棟落成  
4月 重要無形文化財保持者 大場勝雄(松魚) 所長に就任  
7月 皇太子殿下、皇太子妃殿下(現上皇陛下、上皇后陛下)行啓
- 1990(平成2年)4月 重要無形文化財「蒔絵」保持者 田口善次郎(善国) 主任講師に就任
- 1994(平成6年)6月 重要無形文化財「木工芸」保持者 川北良造 主任講師に就任
- 1995(平成7年)5月 重要無形文化財「髹漆」保持者 塩多慶四郎 主任講師に就任
- 1996(平成8年)4月 重要無形文化財「蒟醬」保持者 太田 儔 主任講師に就任
- 1998(平成10年)2月 創立30周年記念式典及び30年のあゆみ石川展 本研修所にて開催(2月22日～3月8日)  
3月 30年のあゆみ東京展 西武百貨店池袋店にて開催(3月25日～3月30日)
- 1999(平成11年)6月 前 史雄次長 重要無形文化財「沈金」保持者に認定される
- 2000(平成12年)4月 重要無形文化財「螺鈿」保持者 北村謙一(昭齋) 主任講師に就任
- 2001(平成13年)4月 重要無形文化財「沈金」保持者 前 史雄 主任講師に就任
- 2002(平成14年)7月 重要無形文化財「髹漆」保持者 大西 勲 主任講師に就任
- 2003(平成15年)10月 紀宮清子内親王殿下お成り(所内御見学)
- 2006(平成18年)4月 重要無形文化財保持者 前 史雄 所長に就任  
9月 重要無形文化財「髹漆」保持者 小森邦博(邦衛) 主任講師に就任
- 2008(平成20年)2月 創立40周年記念式典及び40年のあゆみ展 本研修所にて開催(2月16日～2月24日)
- 2009(平成21年)4月 重要無形文化財「髹漆」保持者 増村紀一郎 主任講師に就任  
4月 重要無形文化財「蒔絵」保持者 室瀬和美 主任講師に就任
- 2010(平成22年)10月 常陸宮同妃両殿下お成り(所内御見学)
- 2011(平成23年)4月 重要無形文化財「蒔絵」保持者 中野孝一 主任講師に就任
- 2013(平成25年)4月 重要無形文化財「木工芸」保持者 灰外達夫 主任講師に就任
- 2014(平成26年)4月 重要無形文化財「蒟醬」保持者 山下義人 主任講師に就任
- 2017(平成29年)10月 創立50周年記念式典及び50年のあゆみ展 本研修所にて開催(10月7日～10月15日)
- 2019(平成31年)4月 重要無形文化財「沈金」保持者 山岸一男 主任講師に就任
- 2020(令和2年)4月 重要無形文化財保持者 小森邦博(邦衛) 所長に就任
- 2024(令和6年)1月 令和6年能登半島地震発生により当面の間休講

## ● 目次

沿革	1	研修所資料	7、8
令和6年能登半島地震	2	運営委員、講師陣	9、10
あらまし	3	卒業・修了作品と研修風景	11、12
主任講師	3、4	研修所の状況	13
学科と授業内容	5、6	研修生募集要項	14

### 令和6年 能登半島地震 令和6年1月1日(16時10分・マグニチュード(M) 7.6)

#### R6.1.1 施設被害状況



#### R6.2.5～ 卒業制作風景



#### R6.5.7 卒業式・5.7～5.12卒業作品展(しいのき迎賓館)



令和6年1月1日の地震により研修所の建物も大きく被害を受けました。復旧には、かなりの時間を要する為、やむなく休講となりました。令和5年度卒業予定の研修生においては、各方面のご支援、ご協力のもと卒業作品を完成させ、卒業作品展・卒業式を執り行うことが出来ました。

## ● あらまし

文化財保護法による重要無形文化財保持者の技術伝承者養成及びそれに必要な漆工芸の研究調査、資料収集等の事業を行うため、文化庁の助成を得て石川県が設置している。

- 「芸は人なり」……を基調に人間形成に力をそそぎ、漆芸技術者としての使命を深く自覚させ、研修体験を通じて真摯で意欲的な態度を身につけさせる。
- 高度の伝統技術を習得錬磨させるとともに広い視野に立って創意工夫の能力を培わせる。

## ● 名誉所長



前 史雄

重要無形文化財「沈金」保持者  
紫綬褒章受章  
旭日小綬章受章  
(公社)日本工芸会参与  
金沢学院大学名誉教授  
当研修所名誉所長(兼)主任講師

## ● 所 長



小森邦博(邦衛)

重要無形文化財「髹漆」保持者  
紫綬褒章受章  
旭日小綬章受章  
(公社)日本工芸会参与  
当研修所所長(兼)主任講師  
当研修所 市立第2回卒業

## ● 主任講師



川北良造

重要無形文化財「木工芸」保持者  
紫綬褒章受章  
旭日中綬章受章  
(公社)日本工芸会参与  
石川県挽物職技術研修所長



増村紀一郎

重要無形文化財「髹漆」保持者  
紫綬褒章受章  
瑞宝中綬章受章  
東京藝術大学名誉教授  
(公社)日本工芸会参与  
日本文化財漆協会理事長



室瀬和美

重要無形文化財「蒔絵」保持者  
紫綬褒章受章  
旭日小綬章受章  
(公社)日本工芸会参与  
日本文化財漆協会特別会員



中野孝一

重要無形文化財「蒔絵」保持者  
紫綬褒章受章  
旭日小綬章受章  
(公社)日本工芸会参与



山下義人

重要無形文化財「蒟醬」保持者  
紫綬褒章受章  
旭日小綬章受章  
(公社)日本工芸会参与  
香川県漆芸研究所主任講師



山岸一男

重要無形文化財「沈金」保持者  
紫綬褒章受章  
(公社)日本工芸会参与  
当研修所 県立第4回卒業



特別研修課程

(年間200日 2ヵ年)

未経験者を対象に2年間、基礎から作品づくりまで幅広くしかも確かな技術の修得をめざします。

専修科

1年

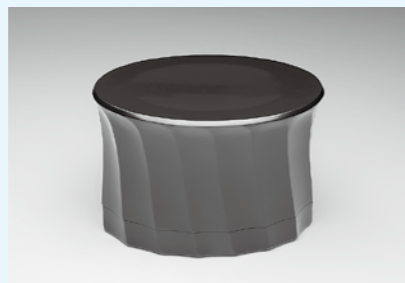
- ◇漆芸実技  
下地～上塗(丸盆、手板)
- ◇絵画、デザイン
- ◇図法製図
- ◇漆工制作法  
研出蒔絵、沈金、変塗



1年修了作品 沈金・蒔絵丸盆

2年

- ◇榛地、髹漆  
榛地曲物通盆、乾漆、  
什器、変塗  
卒業作品
- ◇蒔絵  
蒔絵手板  
卒業作品
- ◇沈金  
沈金手板  
卒業作品



2年卒業作品 乾漆青漆箱



蒔絵科・沈金科・専修科 各種技法手板

普通研修課程

(年間180日 3ヵ年)

榛地科

各種の木工技法を幅広く習得し塗りを含めた制作法を学ぶ。

1年

- ◇榛地実技  
曲物、指物(小箱、四方盆、  
茶箱)、挽物、籃胎、  
挽曲菓子器
- ◇髹漆実技  
高台寺椀、小箱、乾漆
- ◇蒔絵実技、沈金実技

2年

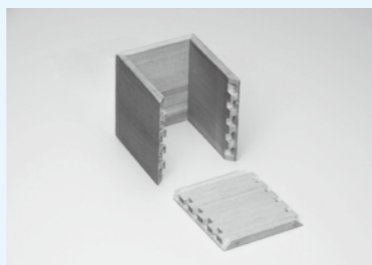
- ◇榛地実技  
曲物(緑高重、丸盆)、刳物  
指物、挽物、籃胎、  
挽曲菓子器
- ◇髹漆実技  
刳物、端反盆、乾漆
- ◇蒔絵実技、沈金実技

3年

- ◇榛地実技  
卒業作品
- ◇髹漆実技  
曲物、籃胎、乾漆、指物
- ◇蒔絵実技、沈金実技

全学年

臨時主任講師特別講義  
工芸史、茶道、華道、書道、  
教養、製図、デザイン



2年修了作品 留形隠蟻組

基礎技術の修得者を対象に3年間じっくりと、人間国宝を始めとする多彩な講師陣より伝統の技を学びます。

髹漆科

下地から上塗まで日本産漆を使用し、漆本来の特性を学ぶ。

1年

- ◇髹漆実技  
塗り実習(秀衡椀、高台寺椀、  
茶箱)曲物、乾漆、変塗、銘々盆
- ◇呂色実技
- ◇榛地実技  
挽物、曲物、籃胎、指物
- ◇蒔絵実技、沈金実技

2年

- ◇髹漆実技  
塗り実習(端反盆)  
曲物、乾漆(2)、変塗
- ◇呂色実技
- ◇榛地実技  
挽物、曲物、籃胎、指物
- ◇蒔絵実技、沈金実技

3年

- ◇髹漆実技  
卒業作品、曲物、変塗、乾漆
- ◇呂色実技
- ◇榛地実技  
籃胎
- ◇蒔絵実技、沈金実技

全学年

臨時主任講師特別講義  
工芸史、茶道、華道、書道、  
教養、製図、デザイン



1年修了作品 乾漆輪花盆

蒔絵科

高度な古典技法の習得により多種多様な表現方法を学ぶ。

1年

- ◇蒔絵実技  
平蒔絵、高蒔絵、研出蒔絵  
木地蒔絵、螺鈿、卵殻、切金、漆絵  
(小箱、端反盆、銘々盆、丸盆)
- ◇髹漆実技、呂色実技、沈金実技  
曲物通盆の下地～上塗、変塗
- ◇榛地実技  
曲物通盆

2年

- ◇蒔絵実技  
1年次に実習した技法を組  
合わせ加飾  
(高台寺椀、秀衡椀、四方盆、香合)  
肉合蒔絵(中次)
- ◇髹漆実技  
共通課題挽物の下地～上塗
- ◇呂色実技、沈金実技

3年

- ◇蒔絵実技  
卒業作品、平棗、挽物
- ◇髹漆実技、呂色実技  
卒業作品の下地～上塗
- ◇榛地実技  
卒業作品の外箱

全学年

臨時主任講師特別講義  
工芸史、茶道、華道、書道、  
絵画、教養、製図、デザイン



2年修了作品 蒔絵小箱

沈金科

日本最大の沈金生産地である輪島の彫技を学ぶ。

1年

- ◇沈金実技  
点彫り、線彫り、片切り彫り  
象嵌、蒔醬  
(小箱、端反盆、銘々盆、丸盆)
- ◇髹漆実技、呂色実技、蒔絵実技  
曲物通盆の下地～上塗、変塗
- ◇榛地実技  
曲物通盆

2年

- ◇沈金実技  
1年次に実習した技法を組  
合わせ加飾  
(高台寺椀、秀衡椀、四方盆、香合)  
沈金(中次)、蒔醬
- ◇髹漆実技  
共通課題挽物の下地～上塗
- ◇呂色実技、蒔絵実技

3年

- ◇沈金実技  
卒業作品、平棗、挽物
- ◇髹漆実技、呂色実技  
卒業作品の下地～上塗
- ◇榛地実技  
卒業作品の外箱

全学年

臨時主任講師特別講義  
工芸史、茶道、華道、書道、  
絵画、教養、製図、デザイン



3年卒業作品 沈金平棗



らでんへいじんあん  
螺鈿平塵案  
原品 平安時代  
榛地 桐本久幸  
髹漆 塩多慶四郎



しほこへい  
漆胡瓶  
原品 奈良時代  
榛地 赤地友哉



じだいわん  
時代碗  
原資料:「時代碗大観」  
松田権六・羽野禎三 共編  
榛地 川北良造  
髹漆 塩多慶四郎  
小森邦博



ふせんりょうらでんまきえてぼこ  
浮線綾螺鈿蒔絵手箱  
部分模造  
原品 鎌倉時代  
榛地 高柳修一  
髹漆・蒔絵 浦出勝彦  
紐金具 奥村公規



さいえはながたのきら  
彩繪華形皿  
原品 奈良時代  
榛地 熊野吉次  
髹漆 川上正一



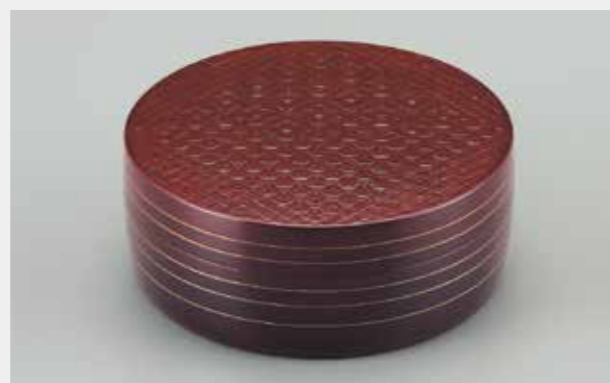
ぼたんそうきんてぼこ  
牡丹鎗金手箱  
原品 元時代・14C  
榛地 高柳修一  
髹漆 德野林松  
鎗金 前史雄



しゆぬりりんかてんもくぼん  
朱塗輪花天目盆  
原品 室町時代  
榛地 灰外達夫  
髹漆 林 暁



ちんきんぼこ たかむら  
沈金箱「竹叢」  
前史雄作



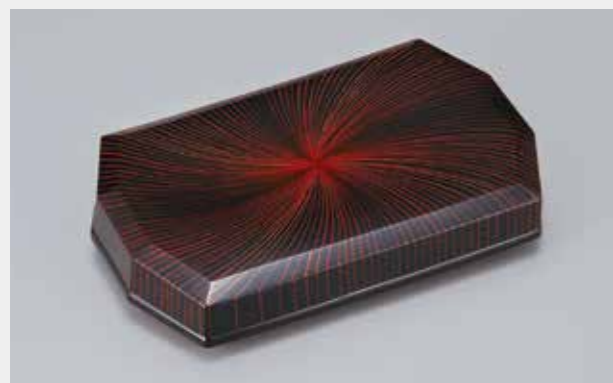
まげわづくりらんたいじきろう  
曲輪造籃胎食籠  
小森邦衛作



けやきづくりもりき  
櫟造盛器  
川北良造作



やまあじさいまきえてぼこ  
山紫陽花蒔絵箱  
室瀬和美作



ほうしやもんろくしかわぼこ  
放射文漆皮箱  
増村紀一郎作



りすぶどうもんまきえてぼこ  
栗鼠に葡萄文蒔絵箱  
中野孝一作



きんまほこやまむら  
蒟醬箱「山笑う」  
山下義人作



まげわづくりもりき  
曲輪造盛器  
大西 勲作

## ● 運営委員

令和6年5月27日現在

<b>増村紀一郎</b> 主任講師	<b>市島 明子</b> 講師代表	<b>坂口 茂</b> 学識経験者 (輪島市長)
<b>室瀬和美</b> ”	<b>近藤都代子</b> ”	<b>日南 尚之</b> ” (輪島漆器商工業協同組合理事長)
<b>中野孝一</b> ”	<b>島崎 隆子</b> ”	<b>久岡 政治</b> ” (輪島商工会議所会頭)
<b>山岸 一男</b> ”	<b>川北 浩彦</b> ”	<b>北原 洋子</b> ” (石川県七尾美術館次長兼企画係長)
	<b>山崎 剛</b> 学識経験者 (石川県輪島漆芸美術館館長)	<b>細川貴久美</b> 関係行政機関 (輪島市文化課課長補佐兼管理係長 兼振興係長)

## ● 講師陣

### 普通研修課程

<b>榛地科</b>	<b>榎本千冬</b> (藍胎) 竹工芸作家 日本工芸会正会員 当研修所県立第13回卒業生	<b>蔵田 満</b> (曲物) 漆芸榛地師 保存会理事	<b>松井 裕志</b> (指物・挽曲) 木工芸作家 日本工芸会正会員 現代美術展会友
	<b>黒田 光一</b> (榛地・髹漆) 木地、漆器業 当研修所県立第28回卒業生	<b>福島 則夫</b> (指物・刳物) 木工芸作家 日本工芸会正会員	<b>川北 浩彦</b> (挽物) 木工芸作家 日本工芸会正会員 山中漆器挽物轆轤保存会員 石川県挽物轆轤技術研修所講師

<b>髹漆科</b>	<b>清水 康志</b> (髹漆) 漆芸作家 日本工芸会正会員 保存会準会員 当研修所県立第31回卒業生	<b>鎌田 克慈</b> (髹漆) 漆芸作家 当研修所県立第31回卒業生	<b>水口 咲</b> (髹漆) 漆芸作家 日本工芸会正会員 当研修所県立第32回卒業生
<b>林 暁</b> (乾漆) 漆芸作家 富山大学芸術文化学部付属 技藝院センター長 日本工芸会理事 紫綬褒章受章	<b>惣田 登志樹</b> (髹漆) 髹漆業 保存会副会長 当研修所県立第8回卒業生	<b>坂下 光宏</b> (髹漆) 髹漆業 保存会理事 当研修所県立第18回卒業生	<b>九尾 浩司</b> (呂色) 漆芸呂色師 伝統工芸士 保存会会員

<b>蒔絵科</b>	<b>田中 義光</b> (蒔絵) 漆芸作家 日本工芸会正会員 保存会会員 当研修所県立第23回卒業生	<b>坂本 康則</b> (蒔絵) 漆芸作家 日本工芸会正会員 保存会監事 当研修所県立第4回卒業生	<b>浦出 勝彦</b> (蒔絵) 漆芸作家 日本工芸会正会員 保存会会長 当研修所県立第10回卒業生
<b>市島 明子</b> (蒔絵) 漆芸作家 金沢学院大学教授 日本工芸会理事 紫綬褒章受章	<b>田口 善明</b> (蒔絵) 漆芸作家 日本工芸会正会員 紫綬褒章受章 香川県漆芸研究所講師	<b>北村 繁</b> (螺鈿) 漆芸作家 日本工芸会正会員 文化庁指定文化財(美術工芸品)修理技術者	<b>寺西 松太</b> (蒔絵) 漆芸作家 日本工芸会正会員 保存会会員 当研修所県立第7回卒業生

※保存会員とは重要無形文化財輪島塗技術保存会会員の略

## 沈金科

**水尻 幸夫**(沈金)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
当研修所県立第4回卒業生

**西 勝廣**(沈金)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
保存会理事  
当研修所県立第4回卒業生  
紫綬褒章受章

## 芸術一般教養

**横地 紀子**(書道)  
石川県美術文化協会会員  
読売書法展評議員  
日展入選  
石川県立七尾高校、鹿西高校他  
非常勤講師

**大島 広士**(茶道)  
茶道裏千家教場「裏松舎」茶道指導  
茶道裏千家淡交会石川支部副幹事長

**島崎 隆子**(華道)  
華道家元池坊金沢支部常任理事

**岡村 康子**(デザイン)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員

**伊川 雅仁**(製図・デザイン)  
蒔絵業  
当研修所県立第14回卒業生

**近藤 都代子**(工芸史)  
元文化庁文化財部伝統文化課  
主任文化財調査官  
東京藝術大学非常勤講師

**佐藤 俊介**(絵画)  
日本画家  
日展会員  
金沢美術工芸大学教授

**石崎 誠和**(絵画)  
日本画家  
日展準会員  
金沢美術工芸大学准教授

**日南 尚之**(教養)  
輪島漆器商工業協同組合理事長  
保存会理事

## 特別研修課程

## 専修科

**秋山 祐貴子**(髹漆)  
漆芸作家  
当研修所県立第41回卒業生

**鈴谷 昇洋志**(蒔絵)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
保存会会員  
当研修所県立第19回卒業生

**前古 孝人**(沈金)  
沈金師  
当研修所県立第9回卒業生  
保存会会員

**正傳 宗映**  
(絵画、デザイン)  
日本画家

**内野 薫**(髹漆)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
当研修所県立第6回卒業生

**大角 裕二**(蒔絵)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
保存会会員  
当研修所県立第21回卒業生

**水谷内 修**(沈金)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
当研修所県立第20回卒業生

**大坪 直哉**(榛地・髹漆)  
漆芸作家  
当研修所県立第39回卒業生

**内島 一郎**(蒔絵・髹漆)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
当研修所県立第25回卒業生  
” 教務課長

**岩波 信雄**(髹漆)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
当研修所県立第19回卒業生  
” 漆芸指導専門員

**上野 明弘**(沈金・髹漆)  
漆芸作家  
日本工芸会正会員  
当研修所県立第34回卒業生  
” 会計年度任用職員

**熊野 真由美**(蒔絵)  
蒔絵業  
当研修所県立第19回卒業生  
” 会計年度任用職員

## ● 職員組織 (令和6年5月1日現在) (単位:人)

職名 性別	名譽所長 所長(兼主任講師)	主任講師	次長	講師	助講	庶務課				教務課		計
						主任	業務	非常勤	課長	漆芸指導専門員	非常勤職員	
男	1	1	1	6	25	7	1	1	1	1	1	45
女					6	1		1		1		2
計	1	1	1	6	31	8	1	1	1	1	1	56

● 卒業・修了作品と研修風景



榛地科3年 榛地授業



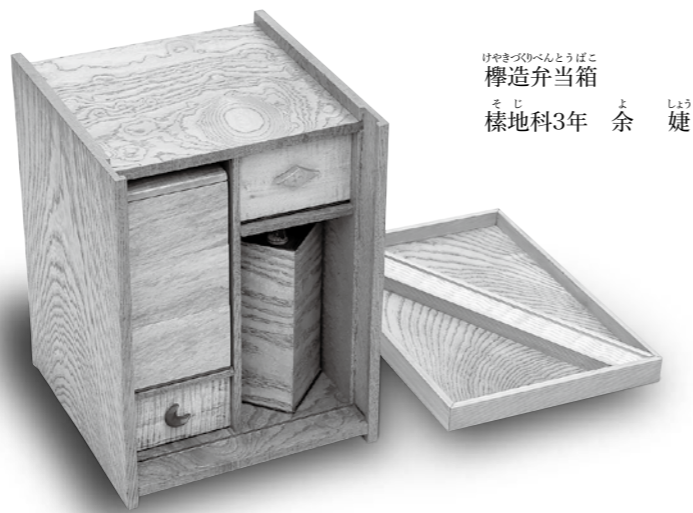
蒔絵科3年 蒔絵授業



専修科2年 髹漆授業



蒔絵・沈金科 華道授業



けやきづひべんとうぼこ  
櫻造弁当箱  
榛地科3年 余 婕



乾漆蓋物「実」  
専修科2年 牧野 結



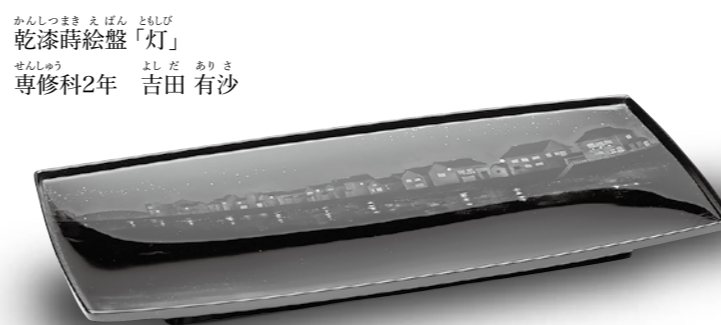
蒔絵菓子器「こぬか雨」  
蒔絵科3年 川村 瞳



ちんきん げつえい  
沈金箱「月影」  
沈金科3年 折笠 汐梨



蒔絵箱「暉暉」  
蒔絵科3年 日野 勇輝



かんしつまき えぼん ともしび  
乾漆蒔絵盤「灯」  
専修科2年 吉田 有沙



蒔絵箱「かぼちゃ」  
蒔絵科3年 岸菜 果桜



かんしつほこ ふげしがわ  
乾漆箱「鳳至川」  
専修科2年 宝樹 恵



デザイン研究会



蒔絵・沈金科2年 絵画授業



沈金科2年 沈金授業



見学研修旅行

# ● 研修所の状況

## ● 研修生の状況 (令和6年5月7日現在の子定)

### (1) 在籍者数

特別研修課程 (単位:人)

科	学年	性別	1 学年		2 学年		計	
			男	女	男	女	男	女
専修科	10	男	4	13	3	14	7	27
		女	9		11		20	

普通研修課程 (単位:人)

科	学年	性別	1 学年		2 学年		3 学年		計	
			男	女	男	女	男	女	男	女
榛地科	5	男	0	1	0	1	0	0	0	2
		女	1		1		0		2	
髹漆科	5	男	0	4	0	1	1	1	1	6
		女	4		1		0		5	
蒔絵科	5	男	0	1	0	0	1	4	1	5
		女	1		0		3		4	
沈金科	5	男	0	1	0	0	0	2	0	3
		女	1		0		2		3	
計	20	男	0	7	0	2	2	7	2	16
		女	7		2		5		14	

聴講生数 該当者なし

### (2) 出身都道府県別

出身地	課程	学年	性別	石川	北	青	岩	群	千	埼	東	神	長	富	静	愛	大	京	岡	福	熊	大	沖	中	台	計	
				輪	海	森	手	馬	葉	玉	京	野	山	岡	野	山	岡	崎	本	分	縄	国	津	島	計		
普通研修課程	1 学年	男																								7	
		女																									7
	2 学年	男																									2
		女																									2
	3 学年	男	1	1																							7
		女	1																								5
計	男	1	1																							16	
女	1																									14	
特別研修課程	1 学年	男																								13	
		女	1																								9
	2 学年	男																									3
		女	1																								
	計	男	1																								17
		女	1																								
合計	男	1	1																							19	
女	2																										34
計	2	4	1	1	1	2	1	2	4	4	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	3	43	

石川県出身者 6名 (14%)



髹漆科教室



蒔絵科教室

## ● 卒業生の状況 (令和6年5月7日現在)

### (1) 出身地別卒業生数 (単位:人)

出身地	科	普通研修課程					特別研修課程		合計
		榛地科	髹漆科	蒔絵科	沈金科	計	専修科	計	
石川県	男	8	61	77	63	209	35	244	
	女	1	9	45	24	74	44	118	
石川県外	男	14	53	47	8	122	78	200	
	女	10	48	68	25	151	186	337	
外国	男	1	1	1	0	3	7	10	
	女	1	2	1	9	4	17	18	
計	男	23	115	125	71	334	120	454	
	女	12	35	121	53	239	241	480	

聴講生含む延数

### (2) 重要無形文化財保持者の認定者 (単位:人)

重要無形文化財「髹漆」保持者	1
重要無形文化財「沈金」保持者	1

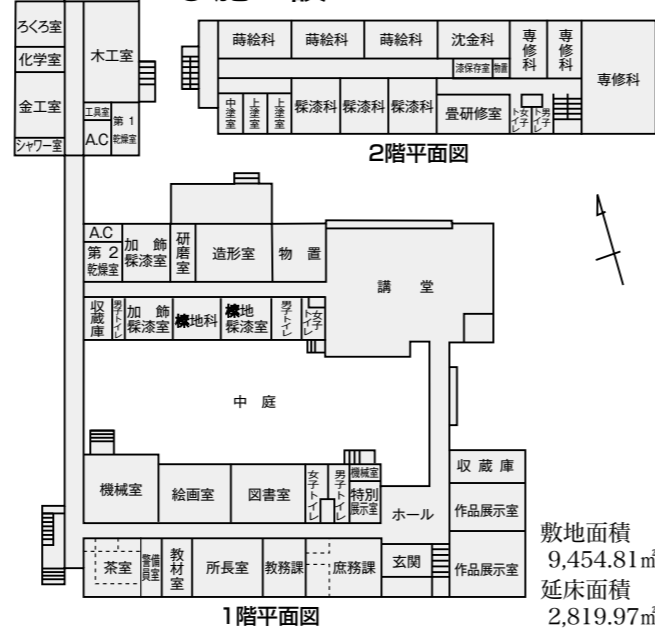
### (3) 勲章・褒賞の受章者 (単位:人)

旭日小綬章受章	1
紫綬褒章受章	6

### (4) 卒業生の活躍状況 (令和6年5月22日現在) (単位:人)

展覧会名	入選者数	受賞名及び人数	
日本伝統工芸展	97	・日本工芸会総裁賞 4 ・高松宮記念賞 3 ・文部科学大臣賞 2 ・東京都知事賞 3 ・NHK会長賞 4(5回) ・朝日新聞社賞 3 ・日本工芸会会長賞 1 ・日本工芸会保持者賞 3 ・第70回記念賞 1 ・日本工芸会奨励賞 8(9回) ・日本工芸会新人賞 4	
日本美術展	19	・特選 5(10回)	
その他の中央展	日本伝統漆芸展	123	・文部科学大臣賞(文化庁賞) 12 ・東京都教育委員会賞 9(12回) ・朝日新聞社賞 12(14回) ・MOA美術館賞 3(4回) ・第25回記念賞 1 ・第40回記念賞 1 ・奨励賞 石川県立漆芸技術研修所賞 7(9回) ・奨励賞 日本工芸会賞 3 ・奨励賞 日本工芸会賞 1 ・新人賞 6
	日本現代工芸美術展	20	・文部科学大臣賞 1 ・東京都知事賞 2 ・現代工芸賞 7 ・現代工芸記念賞 2 ・東京都教育委員会賞 1 ・現代工芸本会員賞 7 ・現代工芸理事長賞 2
	新工芸展	9	・新工芸賞 1 ・東京都知事賞 1 ・奨励賞 3 ・会員佳作賞 1(3回) ・会員賞 1
	日工会展	1	・日工会大賞 1 ・文部科学大臣賞 1 ・日工会会員賞 1(3回) ・高島屋社長賞 1 ・企画展示特別賞 1
中央展合計	269		
石川の伝統工芸展	89	・石川県知事賞 10 ・金沢市長賞 9(11回) ・北國新聞社賞 5(6回) ・金沢名鉄丸越社長賞 1 ・日本工芸会賞 7(8回) ・NHK金沢放送局長賞 2 ・第50回記念特別賞 1 ・石川の伝統工芸特賞 1 ・奨励賞 22(37回)	

## ● 施設



# ● 研修生募集要項

	特別研修課程(2カ年)	普通研修課程(3カ年)
募集人員	専修科 10人以内	榛地科 5人以内 髹漆科 5人以内 蒔絵科 5人以内 沈金科 5人以内
入学資格	高等学校を卒業した者又は所長がこれと同等程度の知識及び能力があると認められた者	中学校卒業以上の学力を有し、それぞれ入学を希望する学科の基礎技術を習得していると認められる者 又は特別研修課程を卒業した者 但し榛地科については髹漆の基礎技術習得者を含むものとする。
添付書類	ア. 最終在籍学校の卒業証明書 イ. 履歴書 ウ. 特別事情具申書(石川県外に居住する者に限る)	ア. 基礎技術習得の証明書 イ. 履歴書
願書受付	能登半島地震の影響の為、令和7年度の研修生募集は行いません。 次の募集は令和8年度以降となりますので詳細をお待ちください。	
入学選考	ア. 鉛筆淡彩写生 イ. 平面もしくは立体構成 ウ. 面接  ※持参品 1. 受験票 2. 試験に必要な筆記用具及び絵画用具	ア. 実技 蒔絵科・沈金科(1)鉛筆淡彩写生テスト (2)実技テスト (爪盤・筆・ノミ等は各自持参すること)  榛地科・髹漆科(1)器物の考案テスト (2)実技テスト (鉋・ノミ、塗師小刀等は各自持参すること)  イ. 面接 ※持参品 1. 受験票 2. 面接試験用に髹漆科・榛地科の志願者は各自の使用している塗師刀、刷毛、篋、鉋等 蒔絵科・沈金科の志願者は、これまでに描いたスケッチブック、道具類等 3. 試験に必要な筆記用具及び絵画用具

- 授業料及び入学金不要
- 教材費等  
研修所で決められた必要最小限の個人の用具は個人負担とする。  
また、特別研修課程については、教材費が必要  
(※教材費の金額については後日お知らせします。)
- 学生割引証の交付
- 特別研修課程の卒業生は普通研修課程の受験資格を付与
- 詳細については、石川県立輪島漆芸技術研修所に問い合わせてください。
- 選考方法等  
過去の試験内容については、当研修所教務課へお問い合わせください。
- 選考結果通知  
当研修所玄関及びホームページに合格者を掲示するほか、本人には通知書を郵送します。  
但し、ホームページについては、正午を過ぎる場合があります。  
(電話による問い合わせは、受付いたしません)

〒928-0064 石川県輪島市釜屋谷町1字30番地  
TEL 0768-22-7000(代表)  
FAX 0768-22-7003  
メールアドレス:shikken@pref.ishikawa.lg.jp https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/bunkazai/shikken/



重要無形文化財「白磁」保持者 前田 昭博先生 特別講義

